



二中だより

さとく
うつくしく
たくましく

題字：〇〇〇〇（3年）

天童市立第二中学校だより 第9号 令和4年10月27日 文責：校長 花輪 武彦

「みんなが主役」の Nichu Festival～絆の祭典～ 競技・応援を通じて 「二中生の友情とパワー」を感じました

10月6日（木）「二中フェスティバル絆の祭典」が開催されました。当日は少し肌寒さを感じる天気でしたが、雨の影響もほとんど受けずにまずまずのコンディションのもと競技・応援合戦が繰りひろげられました。全校生が一堂に会して、そして紅白の二軍に分かれての体育的行事は3年ぶりで、生徒全員が初めての経験でした。生徒だけでなく本校では初めてという職員も多く、色々なことが手探り・試行錯誤だったと思います。

当日の「絆の祭典」では、生徒の皆さんが力を発揮した「3つの場面」がありました。1つ目は「競技」です。勝利に向けてそれぞれの軍の作戦を遂行するため、声をかけながら協力して取り組む姿が随所に見られました。2つ目は「応援」です。コロナ禍のため密集した隊形等はできませんが、間隔を取りながら自軍の応援を大きな声を出して披露しました。そして3つ目は「係の仕事」です。実行委員を中心に責任を持って取り組み、絆の祭典がうまく進むように支えてくれました。

今年の「絆の祭典」（体育的行事）は熱中症対策のため、従来の9月から実施時期を1ヶ月先に伸ばし、準備の多くが2学期になってからでした。本格的な競技や応援練習は中間テスト終了後の1週間という短期間でしたが、集中した取り組みで、改めて「中学生の力」を見ることができたと感じています。特にうれしかったことは、3年生が率先して行動し、1・2年生を引っ張ってくれたこと。活躍する3年生の姿を多く見ることができたことです。前日もテント設営に関する仕事やグラウンドのライン引き、各軍幹部の活動、実行委員の準備等、3年生を中心に放課後遅くまで行いました。このような3年生の姿は、おそらく新たな歴史の始まり、新たな伝統の「第一歩」になるものと思います。

この絆の祭典を作り上げるため、一学期末から中心になって活動してくれた実行委員の皆さん、ありがとうございました。そしてすべての生徒の皆さん苦労様でした。また、開催そして参観に当たりご理解・ご協力をいただいた保護者の皆様にも感謝を申し上げます。ありがとうございました。



学校生活から

合唱コンクールに向けて

Nichu Festival～文化の祭典～で行われる合唱コンクールに向けてどのクラスも時間を惜しんで練習に励んでいます。指揮者、伴奏者、パートリーダーを中心に練習を進め、学級の団結力を示そうと頑張っています。

学級	自由曲	指揮者	伴奏者
1-1	HEIWA の鐘	〇〇〇〇	〇〇〇〇
1-2	きみにとどけよう	〇〇〇〇	〇〇〇〇
1-3	空は今	〇〇〇〇	〇〇〇〇
1-4	My Own Road	〇〇〇〇	〇〇〇〇
2-1	あなたへ	〇〇〇〇	〇〇〇〇
2-2	心の瞳	〇〇〇〇	〇〇〇〇
2-3	ほらね、	〇〇〇〇	〇〇〇〇
2-4	あなたへ	〇〇〇〇	〇〇〇〇
3-1	虹	〇〇〇〇	〇〇〇〇
3-2	手紙	〇〇〇〇	〇〇〇〇
3-3	証	〇〇〇〇	〇〇〇〇



< 生徒の活動の記録 >

●令和4年度山形県中学校新人体育大会

< 南ブロック大会 >

軟式野球競技 1回戦惜敗

卓球競技 男子団体 ベスト8 男子シングルス 〇〇〇〇 ベスト8 (県決勝大会出場)

柔道競技 男子50kg級 〇〇〇〇 第2位 (県決勝大会出場)

剣道競技 男子個人 〇〇〇〇 1回戦惜敗

体操競技 男子個人総合 〇〇〇〇 第7位

< 県大会 >

バドミントン競技 男子シングルス 〇〇〇〇 1回戦惜敗

女子シングルス 〇〇〇〇 第3位

●第75回山形県中学校陸上競技選手権大会

女子1年100M 第3位 〇〇〇〇 女子共通200M 第8位 〇〇〇〇

●第29回東北秋季ジュニアテニス選手権大会山形県選考会兼中牟田杯全国ジュニアテニス選手権大会山形県選考会 15歳以下シングルス 第3位 〇〇〇〇

●令和4年度山形県中学生新人テニス選手権大会兼東北中学生新人テニス選手権大会山形県予選会 ダブルス 優勝 〇〇〇〇・〇〇〇〇 ペア

◆第64回山形県子ども絵画展 奨励賞 〇〇〇〇

◆民謡民部少年少女全国大会 民謡中学生の部 優秀賞 〇〇〇〇

上位大会への出場・入賞等おめでとうございます。次の目標に向かって頑張ってください。